

薬 剤 情 報 No.29

令和5年2月27日(月)

1) 新規採用医薬品

医薬品名	効能・効果	用法・用量
ゾコーバ錠 125mg (エンシトレルビル フマル酸錠) 抗 SARS-CoV-2 剤 薬価:なし 塩野義製薬	<効能効果>SARS-CoV-2 による感染症 <用法・用量>12 歳以上の小児及び成人には 1 日目は 375 mg を、2 日目から 5 日目は 125mg を 1 日 1 回経口投与 <患者用説明文>新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)による感染症に用いるお薬です。	

2) 仮採用医薬品

医薬品名	効能・効果	用法・用量
サムタス点滴静注用 8mg (トルバプタンリン酸エステルナトリウム注射剤) V2-受容体拮抗剤 薬価:1,160 円/8mg1 瓶 大塚製薬	<効能効果>ループ利尿薬等の他の利尿薬で効果不十分な心不全における体液貯留 <用法・用量>16mg を 1 日 1 回 1 時間かけて点滴静注 <患者用説明文>心不全によるむくみを改善する注射薬です。	
ロケルマ懸濁用散分包 5g (ジルコニウムシクロケイ酸ナトリウム水和物) 高カリウム血症改善剤 薬価:1,069.30 円/ 5g1 包 アストラゼネカ	<効能効果>高カリウム血症 <用法・用量>開始用量 1 回 10g を水で懸濁して 1 日 3 回、2 日間経口投与(最長 3 日間まで)。以後は、1 回 5g1 日 1 回。最高用量は 1 日 1 回 15g まで。 血液透析施行中の場合は、1 回 5g を水で懸濁して非透析日に 1 日 1 回経口投与。最高用量は 1 日 1 回 15g まで。 <患者用説明文>血液中のカリウムを減らすお薬です。	
ユリス錠 0.5mg・1mg (ドチヌラド) 選択的尿酸再吸収阻害薬 薬価:29.20 円/0.5mg1 瓶 53.30 円/0.5mg1 瓶 持田製薬	<効能効果>痛風、高尿酸血症 <用法・用量>1 日 0.5mg より開始し、1 日 1 回経口投与。維持量は通常 1 日 1 回 2mg。最大投与量は 1 日 1 回 4mg <患者用説明文>痛風や高尿酸血症に用いるお薬です。	

3) 剤型・規格 追加医薬品

なし

4) メーカー変更医薬品・後発品変更医薬品

剤型変更追加・メーカー変更薬	既採用薬	備考
イオパミドール 300 注 20mL「FF」・50 mL「FF」 インピスト注 300 20mL	ウログラフィン注 60%	※適応変更のため
プロクトセディル坐薬	ネリプロクト坐剤	※製造中止 ※痔治療薬

ポビドンヨードガーグル液 7%「ケン エー」	ポビドンヨードガーグル 7%「マイラ ン」	※製造中止
ゾレドロン酸点滴静注 4mg/5mL「サ ンド」	ゾレドロン酸点滴静注 4mg/100mL バッグ「ヤクルト」	※製造中止 ※バック⇒バイアルに変更
タコシール組織接着用シート 4.8cm×4.8cm(ハーフサイズ)	3.0cm×2.5cm (スモールサイズ)	※不良在庫解消のため
ポビドンヨードゲル 10%「VTRS」	ポビドンヨードゲル 10%「明治」	※製造中止
グラニセトロンバッグ 3 mg「HK」100ml	グラニセトロン点滴静注バッグ 3mg /100mL「NIG」	※再度変更
フェブキソスタット錠 10mg「DSEP」 フェブキソスタット錠 20mg「DSEP」	フェブリク錠 10mg フェブリク錠 2mg	※オーソライズドジェネリック
ラメルテオン錠 8mg「武田テバ」	ロゼレム錠 8mg	※オーソライズドジェネリック
エルデカルシトールカプセル 0.5 μg 「トーフ」 エルデカルシトールカプセル 0.75 μ g「トーフ」	エディロールカプセル 0.5 μg エディロールカプセル 0.75 μg	※オーソライズドジェネリック

5) 院外限定採用医薬品(剤型追加)

なし

6) 患者限定採用医薬品

医薬品名	効能・効果	用法・用量
ネスブ注射液 120 μg プラシリン ジ ダルベポエチンアルファ製剤 薬価:12,622 円/0.5mL1 筒 協和キリン	〈効能・効果〉骨髄異形成症候群に伴う貧血、腎性貧血 〈用法・用量〉骨髄異形成症候群に伴う貧血には週 1 回 240 μg を皮下投 与する。 ※持続型赤血球造血刺激因子 ※腎性貧血についての用法・用量は割愛	
フェソロデックス筋注 250mg フルベストラント 薬価:38,404 円/ 5mL1 筒 アストラゼネカ	〈効能・効果〉乳癌 〈用法・用量〉本剤 2 筒(500mg)を、初回、2 週後、4 週後、その後 4 週 ごとに 1 回、左右の臀部に 1 筒ずつ筋肉内投与する。なお、閉経前乳癌 に対しては、LH-RH アゴニスト投与下で CDK4/6 阻害剤と併用するこ と。 ※抗エストロゲン剤、乳癌治療剤	
ロナセンテープ 20mg ブロナンセリン経皮吸収型製剤 薬価:258.10 円/ 20mg1 枚 住友ファーマ株式会社	〈効能・効果〉統合失調症 〈用法・用量〉40mg を 1 日 1 回貼付。1 日量は 80mg を超えないこと。 胸部、腹部、背部のいずれかに貼付し、24 時間ごとに貼り替える。 ※抗精神病剤	
イフェクサーSR カプセル 37.5mg ベンラファキシン塩酸塩徐放性 カプセル 薬価:122.00 円/37.5mg1 カプセル	〈効能・効果〉うつ病・うつ状態 〈用法・用量〉通常、成人にはベンラファキシンとして 1 日 37.5mg を初期 用量とし、1 週後より 1 日 75mg を 1 日 1 回食後に経口投与する。なお、 年齢、症状に応じ 1 日 225mg を超えない範囲で適宜増減するが、増量 は 1 週間以上の間隔をあけて 1 日用量として 75mg ずつ行うこと。	

ヴィアトリス製薬	※セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤
ツムラ人参養栄湯エキス顆粒 (医療用) 漢方製剤 薬価:20.30 円/1g ツムラ	<効能・効果>病後の体力低下、疲労倦怠、食欲不振、ねあせ、手足の冷え、貧血 <用法・用量> 通常、成人 1 日 9.0g を 2~3 回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
クラリスロマイシンドライシロップ 10%小児用「大正」 薬価:23.60 円/100mg1g 大正製薬	<効能・効果>一般感染症 <用法・用量> 1 日体重 1kg あたり 10~15mg を 2~3 回に分けて経口投与する。レジオネラ肺炎に対しては、1 日体重 1kg あたり 15mg を 2~3 回に分けて経口投与する。 ※マクロライド系抗生物質製剤
ホストイン 静注 750mg ホスフェニトインナトリウム水和物 薬価:6,420 円/750mg10mL1 瓶 ノーベルファーマ	<てんかん重積状態> 初回投与:22.5mg/kg を静脈内投与。投与速度は 3mg/kg/分又は 150mg/分のいずれか低い方を超えないこと。維持投与:5~7.5mg/kg/日を 1 回又は分割にて静脈内投与。投与速度は 1mg/kg/分又は 75mg/分のいずれか低い方を超えないこと。 <脳外科手術又は意識障害時のてんかん発作の発現抑制> 初回投与:15~18mg/kg を静脈内投与。投与速度は 1mg/kg/分又は 75mg/分のいずれか低い方を超えないこと。維持投与:5~7.5mg/kg/日を 1 回又は分割にて静脈内投与。投与速度は 1mg/kg/分又は 75mg/分のいずれか低い方を超えないこと。 <フェニトインを経口投与しているてんかん患者における一時的な代替療法> 経口フェニトインの 1 日投与量の 1.5 倍量を、1 日 1 回又は分割にて静脈内投与。投与速度は 1mg/kg/分又は 75mg/分のいずれか低い方を超えないこと。 ※抗けいれん剤

7) 削除医薬品

医薬品名	備考
ネリプロクト坐薬	販売中止
ウログラフィン	イオパミドールに変更
ナゾネックス点鼻	使用歴なし
スポンゼル	使用歴なし
アルメタ軟膏	使用歴なし
ポビドンヨードガーグル「マイラン」	「ケンエー」製に変更
ゾレドロン酸点滴静注 4mg/100mL バッグ「ヤクルト」	「サンド」製に変更
タコシール組織接着用シート(スモール)	ハーフサイズに変更
ポビドンヨードゲル 10%「明治」	「ヴィアトリス」製に変更
フェブリク錠 10 mg・20 mg	オーソライズドジェネリックに変更
エディロール 0.5 μg・0.75 μg	オーソライズドジェネリックに変更
ロゼレム錠	オーソライズドジェネリックに変更
エンシュアリキッド・バニラ味	販売中止

8) がん化学療法レジメン追加

なし

9)院内周知:ジクトルテープ 75mg 1 処方 63 枚制限について

ジクトルテープが処方制限枚数を越えて外来処方されるケースがありました。ジクトルテープは、整形外科 社会保険審査委員の見解により、「腰痛症・肩関節周囲炎・頸肩腕症候群及び腱鞘炎における鎮痛・消炎」に対する処方では、1 処方 63 枚の制限となっています。他の湿布と併用の場合も合算で 63 枚になりますので注意が必要です。

ただし、「各種がんにおける鎮痛」に対して処方する場合は、1 処方 63 枚の制限は該当しません。

9) 効能・効果等の改訂のお知らせ(2022 年 11-2023 年 2 月)

なし

10) 禁忌・併用禁忌、使用上の注意の改訂のお知らせ(2022 年 11-2023 年 2 月)

【改訂部分のみ記載】

ボノサップ	【重要な基本的注意】(アモキシシリン水和物)の項:問診内容に「アナフィラキシー、アレルギー反応に伴う急性冠症候群に関する既往歴等」「抗生物質によるアレルギー歴」追記 【重大な副作用】(アモキシシリン水和物)の項:「アレルギー反応に伴う急性冠症候群」追記
オーグメンチン	【重要な基本的注意】問診内容に「アナフィラキシー、アレルギー反応に伴う急性冠症候群に関する既往歴等」「抗生物質によるアレルギー歴」追記 【重大な副作用】「アレルギー反応に伴う急性冠症候群」追記
サワシリン	【重要な基本的注意】問診内容に「アナフィラキシー、アレルギー反応に伴う急性冠症候群に関する既往歴等」「抗生物質によるアレルギー歴」追記 【重大な副作用】「アレルギー反応に伴う急性冠症候群」追記
ジーラスタ	【用法及び用量に関連する注意】がん化学療法による発熱性好中球減少症の発症抑制:本剤投与による安全性が確立していない期間を、がん化学療法剤の「投与開始 14 日前から投与終了後 24 時間以内」から「投与開始 10 日前から投与終了後 24 時間以内」に変更
アダラート CR	妊婦等への投与について、【禁忌】から削除し、【特定の背景を有する患者に関する注意】に「治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与する旨」追記
アムロジン	妊婦等への投与について、【禁忌】から削除し、【特定の背景を有する患者に関する注意】に「治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与する旨」追記
フォシーガ	【効能又は効果に関連する注意】「左室駆出率の保たれた慢性心不全における本剤の有効性及び安全性は確立していないため、左室駆出率の低下した慢性心不全患者に投与する旨」削除 【臨床成績】「左室駆出率の保たれた慢性心不全患者を対象とした国際共同第 III 相試験結果」追記
ボルベン	【禁忌】「重症の敗血症の患者」追記 【特定の背景を有する患者に関する注意】「敗血症の患者(重症の敗血症の患者を除く):重症化した場合、患者の状態を悪化させるおそれがある旨」追記 【その他の注意】「海外臨床試験において、重症敗血症感染が確認され、かつ全身性炎症反応症候群基準を有し、少なくとも 1 つの臓器不全を呈した患者に HES 製剤を使用した場合、酢酸リンゲル液を使用した場合と比較して投与後 90 日時点での死亡のリスクが増加し腎代替療法を要した患者の割合が高

	かった旨」追記
リカルボン・ボンビバ・ボ ナロン 他	【特定の背景を有する患者に関する注意】腎機能障害患者の項:「骨粗鬆症に 対してビスホスホネート系薬剤を使用した腎機能障害患者のうち、特に、高度 な腎機能障害患者において低カルシウム血症の発現が増加したとの国内デー タベース調査結果」追記
プラビックス	【重大な副作用】「インスリン自己免疫症候群」追記 【その他の注意】インスリン自己免疫症候群に関する記載整備
アセリオ	【重大な副作用】「薬剤性過敏症症候群」追記
ゾシン 他	【重大な副作用】「血球貪食性リンパ組織球症(血球貪食症候群)」追記
ビクトーザ	【重要な基本的注意】「胆石症、胆嚢炎、胆管炎又は胆汁うっ滞性黄疸に関す る注意」追記 【重大な副作用】「胆嚢炎、胆管炎、胆汁うっ滞性黄疸」追記

11)院内副作用報告(2022年11-2023年2月)

【当院処方事例のみ記載】

被疑薬	副作用症状等
メジコン	気分不良
エンレスト	皮疹
デルモベート軟膏	蕁麻疹・掻痒感
カロナール	顔面(額)に湿疹、掻痒感
ブスコパン	上室性頻拍
テルミサルタン	全身皮疹
セフトリアキソン	胸部・腹部・背部に赤色丘状疹・斑状疹